

授業科目	保育メディア演習 (AB クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH31403J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP4-2			
担当教員	末嵯 雅美、谷崎 太							
授業概要	この授業では人間形成上極めて重要な幼児期におけるメディア利用について、これまで提唱され実践されてきたすぐれた教育方法とメディアを再考することを通して考える。また、保育者として必要な機器やサービスについても理解する。なお、この授業においては、保育者としてのプレゼン能力を培う「アクティブ・ラーニング」(AL)の手法を積極的に取り入れることや、情報機器を活用した保育資料の作成を行うことを通して、指導の方法を実践的に学ぶ内容となっている。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育方法の基礎的理論と実践を理解し、子どもの資質・能力を育成するための教育方法のありかたを理解している 2. 保育者として必要な情報機器およびサービスの活用の技術を習得し、幼児の体験と関連付けたメディアの活用や教材等の作成・提示が出来る 3. 情報技術の発展と子育て環境との関係を理解し、保育者として相応しい態度を身につける 4. 子どもの豊かな発達を促す教育方法について理解を深める 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	60	10	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			50		30		80	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)			10	10			20	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル 1-4 を全て達成した上で、自らの保育目的に最適な教育(保育)方法を考えることができる。 さらに、その教育方法を展開し、情報機器を活用したプレゼンテーションができる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児期の発達を十分理解した上で、「メディア(媒介物)」の活用を考えることができる 2. 保育者として必要な情報機器およびサービスの活用の技術を習得する 3. 情報技術の発展と子育て環境との関係を理解し、保育者として相応しい態度を身につける 4. 子どもの豊かな発達を促す教育方法について理解を深める 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	はじめに、保育におけるメディア環境について、「教育方法」のとらえ方、教育方法・保育方法の基礎理論	講義	シラバスを読んでおく。教育実習3の実習先で、どのような情報機器が使われているか観察しておくこと。	60
2	様々な教育方法(1) 主体的・対話的な教育方法の在り方、クラス編成と保育の方法、メディア活用と教育方法、メディアに頼らない教育方法とは(末寄)	講義	復習:用語を理解する 予習:早期教育の種類について調べておく	30
3	様々な教育方法(2) 早期教育の方法とメディア、育みたい資質・能力の3つの柱と幼児理解に基づいた評価とは(末寄)	講義	復習:参考資料を読んでおく 予習:ワークシートを完成させる	60
4	子どもの発達と情報技術(1) スマホ・PC・ゲームが与える影響これからの子どもに求められる情報技術の能力、現代的情報環境が与える影響とメディアリテラシー(AL)(末寄)	講義・演習(グループワーク)	復習:グループワークの振り返り 予習:ワークシートの完成	60
5	子どもの発達と情報技術(2) 子育てとSNSについてグループワーク発表(AL)(末寄)	演習(グループワーク)	復習:発表の振り返り 予習:実習園でのメディア環境についてまとめておく	60
6	メディア・リテラシーを高めるー情報化のリスク・保育現場での情報の取り扱いについて(谷崎)	講義	復習:用語の確認、課題に即した情報収集	60
7	保育資料を作成する(1) 情報機器とソフトの活用、実践記録の意義、実践記録の作り方と活用方法、ポートフォリオとは(谷崎)	講義・演習	復習:ソフトの使い方を習得する 予習:課題作成の継続	60
8	保育資料を作成する(2) 情報機器を利用し実践記録スライド・ポートフォリオを作成する(AL)(谷崎)	演習	復習:課題作成の継続	60
9	保育資料を作成する(3) 効果的なプレゼンテーションと相互評価・自己評価(AL)(谷崎)	演習(個人・グループワーク)	復習:発表の振り返り 予習:メディア環境について調べておく	60
10	これからの社会に生きる子どもとメディアの在り方ー情報を活用できる能力を育てるために(谷崎)	講義	講義内容の復習	30
11	メディアを活用した保育方法について (谷崎)	講義	復習:レポート課題作成	60
12	保育現場で用いられているメディア環境ーICTと保育の業務(末寄)	講義	復習:用語の確認、参考資料を読み込む	30
13	実践力を身につける(1) 振り返りと評価指導計画に基づいた指導案作成について、話法や教材の活用、クラスの構成、集団と個の活動及び指導法の違い、実践の振り返りを行う様々な方法について(末寄)	講義	復習:用語の確認、実践演習で用いた指導案を分析する 予習:実習園の保育目標を確認する	30
14	実践力を身につける(2) 異なる保育の方法について保育目標や指導計画を比較検討するグループワーク(AL)(末寄)	講義・演習(グループワーク)	グループワークの振り返りレポート作成	60
15	実践力を身につける(3) 異なる保育の方法を実践・評価し比較検討するグループワーク(AL)(末寄まとめ)	演習(グループワーク)・講義	課題レポートの作成	120
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>実習園で、どのような情報機器がどのような場面で使われているか、観察しておく。</p> <p>子育てや保育に関するネットニュースや記事などを読み、関心を高めておく。</p> <p>PCが身近にある場合は、ワード文書作成など基本的な入力作業について慣れておいて欲しい。</p> <p>また、これまでの授業で学んだ子どもの心と身体の発達段階について、遊びを重視する保育方法について復習しておくこと。</p>			
テキスト	プリント配布			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内で指示。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	図書館を利用して、参考図書を積極的に読んでください。			
達成度評価に関するコメント	<p>担当者からそれぞれレポート課題が出される。単位認定には、両方の課題レポート提出を必須とする。</p> <p>ワークシートなど授業内で提示される提出物は、きちんと提出する。</p> <p>プレゼンテーションやグループワークへの積極的な参加の態度を求める。</p>			